

令和5年6月29日
竜王町定例記者会見
健康推進課こども家庭支援室

こどもまんなかの 竜王町をめざして



りゅうおう子育て応援キャラクター
すっくん

竜王町健康推進課こども家庭支援室

令和5年4月新設

地域で子育て支援の機運を盛り上げよう

滋賀県推奨「すまいる・あくしょん取組宣言」および
こども家庭庁推奨「こどもまんなか応援サポーター宣言」

滋賀県推奨

「すまいる・あくしょん宣言」とは

滋賀県内のこどもたちの笑顔を増やすための7つの行動様式を実現する取組を進めることを宣言し、滋賀県に登録します。



こどもの7つの行動様式

- ①感染症を正しく知って行動しよう
- ②今の気持ちを伝えよう
- ③自分も周りの人も大切に
- ④頼れる人や場所を見つけよう
- ⑤身体を動かしてしっかり遊ぼう
- ⑥わくわく感動する気持ちを持とう
- ⑦オンラインを上手に活かそう

おとなの7つの行動様式

- ①正しい情報を選んで伝える
- ②こどもの声を聞いて一緒に考える
- ③心と身体の健康を支え思いやりを育む
- ④人とのつながりや喜びを感じられる居場所をつくる
- ⑤のびのびと遊び育つための環境を守る
- ⑥文化・芸術・自然・社会に触れる体験を増やす
- ⑦オンラインを活かすための環境を整備する

※県内自治体の宣言済は、甲賀市、日野町、長浜市のみ

こども家庭庁推奨

「こどもまんなか応援サポーター宣言」とは

常にこどもの最善の利益を第一に考えこどもに関する取組がまんなかとなる社会の実現に向けて、共感・賛同し、ともに応援や活動をするサポーターになるという宣言です。

<手順>

- ①こどもまんなかの趣旨に賛同する。
- ②サポーター自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行する。
- ③自身や所属団体等のアクションを発信したり、地域社会で広く参加を呼びかける。

※SNS(twitter、instagram等)やYouTube上でそれぞれのアクションを「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信。

※県内自治体の宣言済は、滋賀県、長浜市のみ

すまいる・あくしょん取組宣言を共同宣言します

令和5年6月29日共同宣言(定例記者会見にて)

竜王町



すまいる・あくしょん取組宣言

私たちは、「こどもまんなかのまちづくり」をめざし地域のみなさんとともに次の取組を進めます。

- 01 一人ひとりのこどもの育ちを大切に、子育てをされる皆さんの気持ちに寄り添い、きめ細やかなサポートに努めます。
- 02 こどもや若者の意見を聴く機会を設け、それらの意見を尊重し、必要な施策に積極的に反映するよう努めます。
- 03 子育てを応援してくださる企業や団体・地域のみなさんとともに、より多くのつながりを大切にしながら取り組みます。

令和5年6月29日
竜王町長 西田秀浩

(医)滋賀家庭医療学センター 様

- 正しい感染症予防や治療により、こどもを守る
- 身体、心の不調にも耳を傾け、こどもを守る
- 地域のかかりつけ医として頼れる場であり続ける

(株)小松製作所 滋賀工場 様

- あいさつ運動、登校見守り運動の継続
- 工場外周辺の美化活動の継続
- 学校園に図書、大型遊具、書画カメラ、ロボット、WiFiルーター等の寄贈(H22年度以降)

三井アウトレットパーク滋賀竜王 オペレーションセンター 様

- コミュニティスペースは地域の皆様の発信、交流の場として、親子イベントを多数開催。
- 季節に応じたイベント体験で発見、感動を！

(公財)竜王町地域振興事業団 様

- スポーツ・レクリエーション施設を有効活用
- 人とのふれあいを大切に夢の実現のお手伝い

県内宣言状況

令和3年4月1日から滋賀県に登録開始
令和5年6月21日現在 登録状況(滋賀県HPより)

滋賀県内で101事業所
うち竜王町11事業所(登録順)

- ◎暮らし育て組
- ◎育ち合うたつの子
- ◎子育て応援hug組
- ◎竜王町子ども会連合会
- ◎(株)木の家専門店 谷口工務店
- ◎竜王町青少年育成町民会議
- ◎アインズ(株)
- ◎(株)みらいパーク竜王
- ◎楽しみづくり隊
- ◎竜王清流会
- ◎土曜倶楽部つちっこ

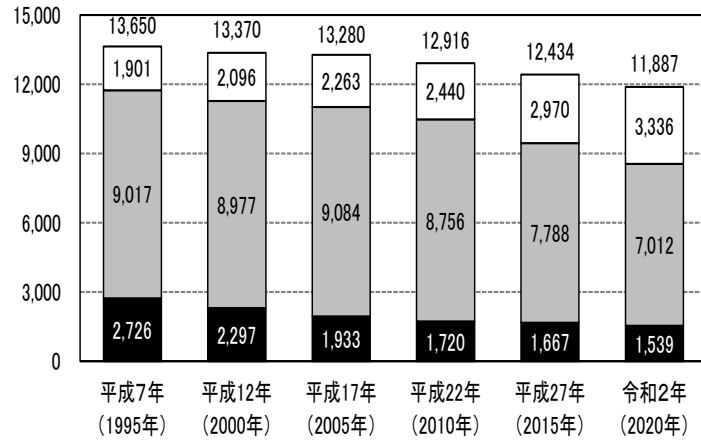
<今後の進め方>

- ◎竜王経済交竜会で賛同いただける事業者を拡げる。
- ◎各種団体や自治会等の地域団体等へも普及し、子育て支援の取組や「こどもまんなか社会づくり」への機運を高め、一人ひとりの行動を促す。

竜王町の子育て支援施策の現況と課題

データからみる現状と課題1

年齢3区分別人口の推移 図1



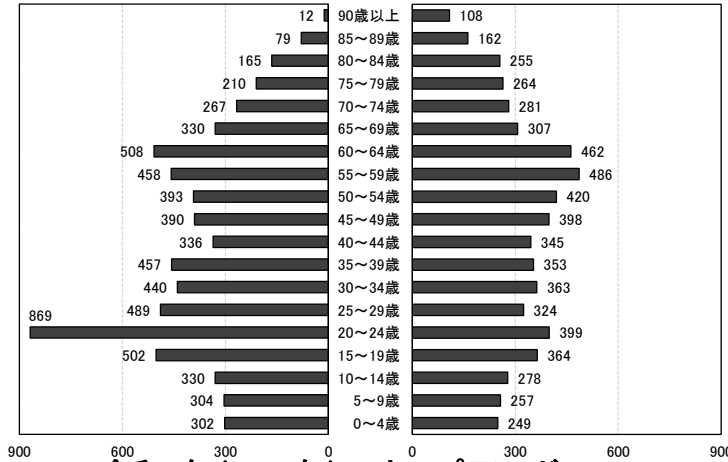
■0~14歳 □15~64歳 □65歳以上

◎竜王町の総人口は、平成7年(1995年)をピークに減少傾向が続いている。

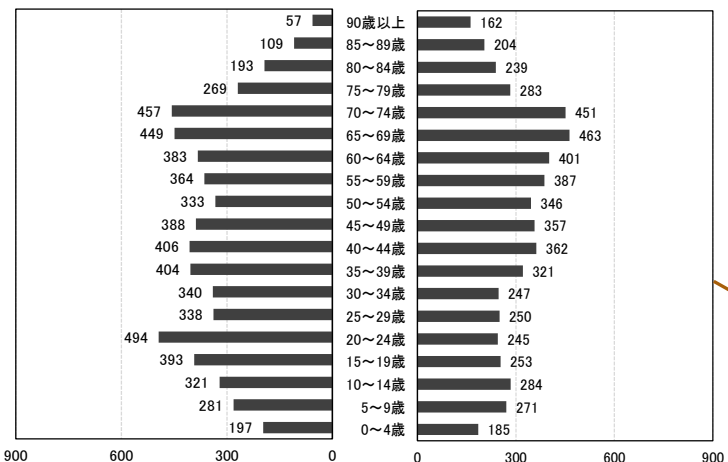
◎令和3年3月に策定した「竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「人口ビジョン」では、2030年に11,000人以上、2040年に10,000以上の維持を将来展望としている。

※図1~3は出典「第六次竜王町総合計画」

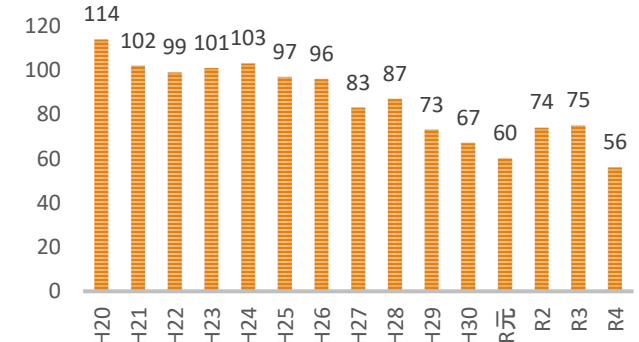
平成22年(2010年)の人口ピラミッド 図2



令和2年(2020年)の人口ピラミッド 図3



竜王町出生数の推移 図4



◎本町における子の出生数が激減(10年前のH24年度は103人/年が、R4年度は56人/年と47人の減)している。早期に出生数の回復を図るため、インセンティブとなる施策が求められている。

※図4は竜王町健康推進課調

◎20~24歳男性の約半数減は、大手自動車メーカー独身寮の動きが大きく反映されている。
◎合計特殊出生率に関わる15~49歳の女性の人口が612人減少しており、進学・就職の際に転出する女性が増加したものと考えられる。



竜王町のこども・子育て支援策の概要



「すまいる・あくしょん取組宣言」および「こどもまんなか応援サポーター宣言」R5年6月

出会い 結婚 妊娠・出産 乳幼児 小学校 中学校 高校 大学・専門学校 就職・自立

基盤整備

経済的支援

ソフト事業

困難事例対応

広域出会いイベント
東近江管内（年1回）

◆ 妊婦・乳幼児健診 ◆ 外国語指導（幼～中）
◆ 予防接種（民 育児相談外来 3割メディカル）

◆ 英語検定料補助（小～中）
◆ 通学用ヘルメット補助（中）

◆ 不妊治療費助成
上限10万円

国 出産・子育て応援交付金（妊娠、出産各5万円）
国 児童手当等

◆ 通学バス定期補助
（終バス後、定期券でタクシー利用、要予約）

◆ 就労支援
滋賀竜王工業団地等へ

◆ 福祉医療費の助成（中学校まで無償）
国 妊産婦健診公費負担、出産育児一時金



◆ 父子・母子福祉年金
◆ 心身障害児福祉年金

◆ 若者定住すまい補助金
（新築上限80万円、
リフォーム上限50万円）

◆ 産後ママのケア訪問
（出産祝オムツ）
◆ マタニティサロン

民 **ダイハツファミリー車提供**
（第2子以降、3年、無償提供）

こどもひろば・相談事業
◆ 赤ちゃんサロン
◆ びよびよひろば0歳児
◆ よちよちひろば1歳児
◆ わくわくひろば2歳児
◆ 子育てサロン（就学前）
◆ ブックスタート10か月

◆ スクールバス運行
◆ 放課後児童クラブ2か所
◆ コミュニティスクール（幼～中学）

一人一人に寄り添う丁寧な教育・保育の充実
◆ 町費による加配、支援員の配置
◆ 少人数による授業
◆ 特別支援学級、通級指導教室

◆ イクボス宣言、ワーク
ライフバランスの推進

団 **産前産後の寄り道**
（ひだまり学舎、三井アウ
トレットモール内）

◆ 竜王こども園（3歳～）

団 居場所、こども食堂等
団 自然・農業体験（ひだまり学舎）
民 遊具、教材提供、教育環境整備



これから取り組みたい子育てサービス
✓ 医療費無償化の拡大（高校生まで）
✓ 給食費の無償化
✓ 保育料（0～2歳児）の無償化
✓ こども・若者の意見表明機会づくり
✓ 乳幼児の一時預かり
✓ 病児、病後児保育

民 保育園（ひまわり、コスモス）

療育事業 ◆ 通所たっぴー（0～5歳）
保健事業 ◆ のびっこ相談（2～5歳）
◆ 親子通級教室どれみ（0～3歳）

団 フリースクール
（NPO子育てネットワーク）

実施主体
◆ 竜王町
国 国庫事業
団 団体事業
民 民間事業者



発達支援 ◆ ことばの教室（3歳～中学） ◆ 個別相談（～18歳） ◆ 児童虐待防止対策事業

◆ （仮称）竜王町こども計画の策定

◆ コンパクトシティ化構想、中心核整備（小学校、こども園、学童、給食センター、公園、コミュニティセンター、住宅地、商業地、道路等の整備）

こどもまんなか社会づくりのための具体的方策

～子育て世帯で にぎわう まちづくりをめざして～

- ◎こどもや子育てする人に寄り添った切れ目のないサポートの充実
- ◎こどもや若者の意見を尊重し、必要な施策に活かすしくみづくり
- ◎地域全体でこどもを応援する機運の醸成や取組の拡充

これまでの各種施策に併せて、次のような取組も検討を進めています。

こどもや若者の意見を聴く機会をつくれます！（R5年度～）

- （仮称）こども計画の策定にあたり、今年度はニーズ調査を実施。
- こどもや若者の意見を直接出してもらうワークショップやイベントを予定（11月予定）。
- 県立大学との包括連携協定等を活用し、こどもや若者の意見を施策に反映するしくみづくりを検討。

伴走型相談支援の拡充と経済的支援の両輪戦略（R5～R8年度）

- 出生数の激減や困難事例の増加を踏まえ、伴走型相談支援をより一層強化。
- 現行の「出産・子育て応援給付金」をベースに、内容を拡充し中長期にわたって、安心な子育てにつなげる支援策を検討。

竜王町ゆかりの子育て世帯をターゲットにした移住戦略（R5～R8年度）

- 経済的インセンティブとともに竜王での子育ての魅力を子育て総合情報冊子やSNSで発信。
- 同居や近居を希望する実家世帯を通じた、個別相談等を検討。

※中心核整備の前半（R5～8年度）では、竜王町にゆかりのある子育て世帯を対象に、後半（R9～12年度）では、住宅開発が進む予定のため、県内外へ「こどもまんなか竜王町」を発信するキャンペーンを展開し、子育て世帯でにぎわうまちづくりを進める。